

働く人々が、職場で「働きやすさ」や「働きがい」をどれくらい感じているかを明確にする。

職場の現状を把握し、 理想のハイパフォーマンスな 職場づくりを応援します！

ICM
Ideal Company Method®

ICMが目指す「理想の職場とは」

01 職場における存在感(肯定感、自信)が高い

存在感とは、職場でどれくらい有用感を感じ、他の人々から認められていると感じているかを表しています。存在感は、職場内での良質なコミュニケーションを活性化したり、パフォーマンスが出しやすい環境を整えることで高まります。

02 職場における不安感(ストレス、不安)が低い

不安感とは、職場の人間関係や環境に対して持っている不安を表しています。不安感とは、職場でのルールや決まりごとを職場全体で尊重する風土づくりや丁寧な個別対応で低くすることができます。

これらを併せ持っている組織こそ「心理的安全性が高い職場」と言えます。

そのような職場では正しい言語活動(話す・聞く・書く・読む)が交わされており、豊かなコミュニケーションが存在しています。

変化が激しく、価値観の多様化が拡がり続ける現代において

組織マネジメントを正しく機能させるために必要なメソッドについてお伝えいたします。

ICMはこの2つの観点から開発された理想の職場アセスメントです。ICMではまず、存在感・不安感に関する23問のアンケートを実施、働く人々の状態をアセスメントし、その結果から、理想の職場への足がかり(気付き)を得ます。その気付きをもとにして、職場のリーダー(管理職、経営者など)が現状改善のための行動を学び、実践して理想の職場を構築していきます。

23問のアンケート

アセスメント/状況把握

【職場リーダー】改善策を学ぶ

改善策をもとに職場改善を実施

メンバー同士の関係性を
正しくデザインして、
望むべき成果を上げ続ける、
心理的安全性が高く
理想的な職場を
つくりましょう。



